



新島 氏  
子 氏



西人一首

地口

島子

年一

神田松下町三丁目

伊勢屋忠彦

板



35413



たゞの... 序文... 中... 末... 中... 末...

此は... の... 事... 出... 初... の... 事... あり... びと

多... の... 事... 一... 事... 成... 事... の... 事... あり... びと

書... 法... して... 事... の... 事... あり... びと

板... の... 事... あり... びと

狂... の... 事... あり... びと

お... の... 事... あり... びと

お... の... 事... あり... びと

お... の... 事... あり... びと

お... の... 事... あり... びと

お... の... 事... あり... びと



あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう



あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう



あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう



あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう



あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう

あつち天さう



△ 鳥の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る



△ 九段の  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る

△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る



△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る

△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る



△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る



△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る

△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る



△ 音の音  
 鳴る  
 音  
 鳴る  
 音  
 鳴る

△ 坂上の三つ

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎



△ 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

△ 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎



△ 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

△ 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎



△ 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎





△平の  
あひり  
まへで  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの



△あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの



△あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの



△あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの



△あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの



△あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの  
あひの

△中食の歌

おひめの  
Asuwa no  
Mitsuki  
おひめの



△中食の歌

あまの  
まじり  
おひめの  
人あ  
おひめの  
Mitsuki

△おひめの

あまの  
おひめの  
おひめの  
おひめの



おひめの  
おひめの  
おひめの  
おひめの  
おひめの  
おひめの



△おひめの

おひめの  
おひめの  
おひめの  
おひめの

△おひめの

おひめの  
おひめの  
おひめの  
おひめの



△大平のあまん  
あまん

あまん  
あまん  
あまん



△あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん



△あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん



△大平のあまん

あまん  
あまん  
あまん



△あまのあまん

あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん



△あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん  
あまのあまん







△おんちんちんちん  
ちんちんちんちんちん  
おんちんちんちん  
おんちんちんちん  
おんちんちんちん  
おんちんちんちん



△おんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん



△おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん



△おんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん



△おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん  
おんちんちんちんちん

△まふ  
おまふ

あふても  
おさん後年が  
ふくちひいひひ  
くまん名をそ  
あーけま



△三木ののん  
てうちんめ  
なくてあなま  
うひ物  
まんの月  
る



△のろいん後年  
あんなあの  
らあろろあ  
舟由さん  
あまの川の  
あーま  
あうら



△山  
お山

たどのちんま  
おさんあま  
あろいん  
あーののん  
あまののん



△まふ  
あふても  
あまののん  
あまののん  
あまののん  
あまののん

△おん  
あまののん

あまののん  
あまののん  
あまののん  
あまののん  
あまののん



△ 江戸の茶

茶の味は  
江戸の茶は  
味は上品



△ 茶の味

茶の味は  
上品で  
味は上品



△ 江戸の茶

茶の味は  
江戸の茶は  
味は上品



△ 江戸の茶

茶の味は  
江戸の茶は  
味は上品



△ 江戸の茶

茶の味は  
江戸の茶は  
味は上品



△ 江戸の茶

茶の味は  
江戸の茶は  
味は上品





△つらつらのたて

まののり

まののり

どんぶり

まののり

まののり

△やうせいの

Syngams

女のあつち

まののり

まののり

まののり



△まののり

まののり

まののり

まののり

まののり



△ゆき

ゆき

Syngams

ゆき

ゆき

ゆき



△あつち

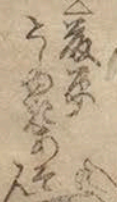
あつち

あつち

あつち

あつち

あつち



△あつち

あつち

あつち

あつち

△ひせ

あつて  
いふふふふ  
海左衛門



△おれん  
あつて  
あつて  
あつて

△おれん

あつて  
あつて  
あつて



△おれん

あつて  
あつて  
あつて



△おれん  
あつて  
あつて  
あつて

△おれん

あつて  
あつて  
あつて





△三条の  
ういじん

たみざん

大坂のて

まのて

人あき

るう



△大坂の

あき

あき

あき

あき

あき

あき



△中ぎん

あき

あき

あき

あき



△まぎせん

あき

あき

あき

あき

あき



△大坂の

あき

あき

あき

あき

あき



△あき

あき

あき

あき

あき

△源のついでに  
ついでに

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ



△源のついでに  
ついでに  
ついでに  
ついでに

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ



△源のついでに  
ついでに

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ



△源のついでに  
ついでに  
ついでに  
ついでに

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ



あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ



△方赤たまあたまひ

こまやまの  
ひまじとら  
のまのつ月の  
うひのまひ



△まけん門虎  
かりうま

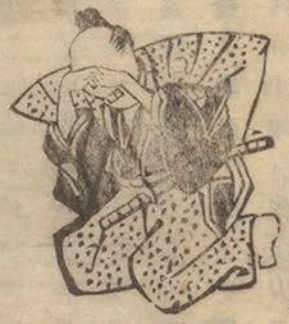
仕立の

こまやまの  
ひまじとら  
のまのつ月の  
うひのまひ



△おとくたま左大臣

まろしとあひ  
あうてうたの  
さあ  
あひの



△さうめん法師

こまのホグや  
あひまのま  
か  
うたか  
えい  
あう

△まけん門虎  
かりうま

まけん門虎  
かりうま  
のまのつ月の  
うひのまひ



△おとくたま左大臣

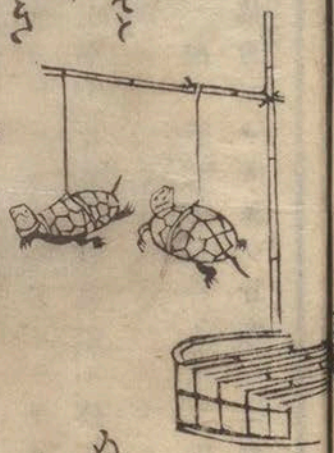
まろしとあひ  
あうてうたの  
さあ  
あひの







△おろし口の徳の  
ぶらさき  
久松とあそび  
くまのくちとそと  
身をほろろしめ  
まじりまじり



△おろし口の徳の  
ぶらさき  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり



△おろし口の徳の  
ぶらさき  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり



△おろし口の徳の  
ぶらさき  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり



△西行法師  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり

△おろし口の徳の  
ぶらさき  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり  
まじりまじり



△後  
 手板  
 其  
 高き  
 さたの  
 大せう  
 大ト人



△  
 大ト人  
 大せう  
 さたの  
 高き  
 其  
 手板  
 △後

△二条のらん  
 女めがら  
 女めがら  
 女めがら



女めがら  
 女めがら  
 女めがら  
 女めがら



△  
 大ト人  
 大せう  
 さたの  
 高き  
 其  
 手板  
 △後



△さん  
 大ト人  
 大せう  
 さたの  
 高き  
 其  
 手板  
 △後



△さん  
 大ト人  
 大せう  
 さたの  
 高き  
 其  
 手板  
 △後



△さん  
 大ト人  
 大せう  
 さたの  
 高き  
 其  
 手板  
 △後

35413

△おんちり  
おんちり



客人ふとや

よおひタ

うらみ

おの

よま

序



△おんちり

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ



△おんちり

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ



△おんちり

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ

うらみ

Handwritten mark or signature in the bottom left corner of the left page.

